

hirosaki

「話題」と「笑顔」を届ける総合情報誌 広報ひろさき

「広報ひろさき」録音版を希望する人は広聴広報課（☎ 35・1194）までお知らせください。

2018

8/15
No.300

お知らせ版

おかげさまで

300号

市町村合併時に創刊した「広報ひろさき」が、今号で300号を迎えました。
市内のさまざまな出来事をお届けしてきた「これまで」を振り返りながら、
市民の皆さんと一緒に「これから」を見つめたいと思います。

■問い合わせ先 広聴広報課（☎ 35・1194）

これまでの
あゆみ

平成22年4月15日号
創刊から約4年で
100号を迎える

主な受賞歴

- 平成22年全国広報コンクール
組み写真の部 1席
- 平成29年全国広報コンクール
一枚写真の部 入選
- 平成30年全国広報コンクール
広報紙（市部）入選

※青森県広報コンクールでは、平成27年度から4年連続「広報紙部門（総合の部）」で特選を受賞。

平成18年3月1日号
市町村合併に合わせて第1号創刊
タブロイド版からA4版に

平成24年1月1日号
創刊から約6年ぶりに
リニューアル

市町村合併前の広報ひろさき
昭和29年11月1日創刊

第1号には、当時の
櫻田清芽市長の挨拶など
を掲載。

広報誌は、市の当時の
様子を知る貴重な資料
でもあります。

※広報ひろさきのバックナンバーは、弘前図書館で見ることができます。



平成26年6月15日号
創刊から約8年で
200号を迎える

平成30年8月15日号
現在

のぞいてみよう！

広報ひろさきの「いま」

時代の移り変わりに合わせて変化してきた「広報ひろさき」。今はどんなことを発信しているのでしょうか？各コーナーの内容とその楽しみ方を紹介します。

市政情報

市政の最新の動向を始め、医療、年金、子育て、教育、住まいなどのお知らせを掲載しています。生活に関わる重要な情報もあるので、ぜひチェックを。

特集

市さまざまな取り組みに焦点を当て、多彩な切り口で紹介するコーナー。時には考えさせられるテーマもあり、読み応えたっぷりです。



フォトコレ in ひろさき

市内各地のイベントやまちの話題を写真で紹介しています。次はあなたにフォーカスが当たるかも！？

健康の掲示板

市が実施している健診（検診）や健康相談などの情報を掲載。積極的に利用して、健康的に過ごしましょう！

投稿募集

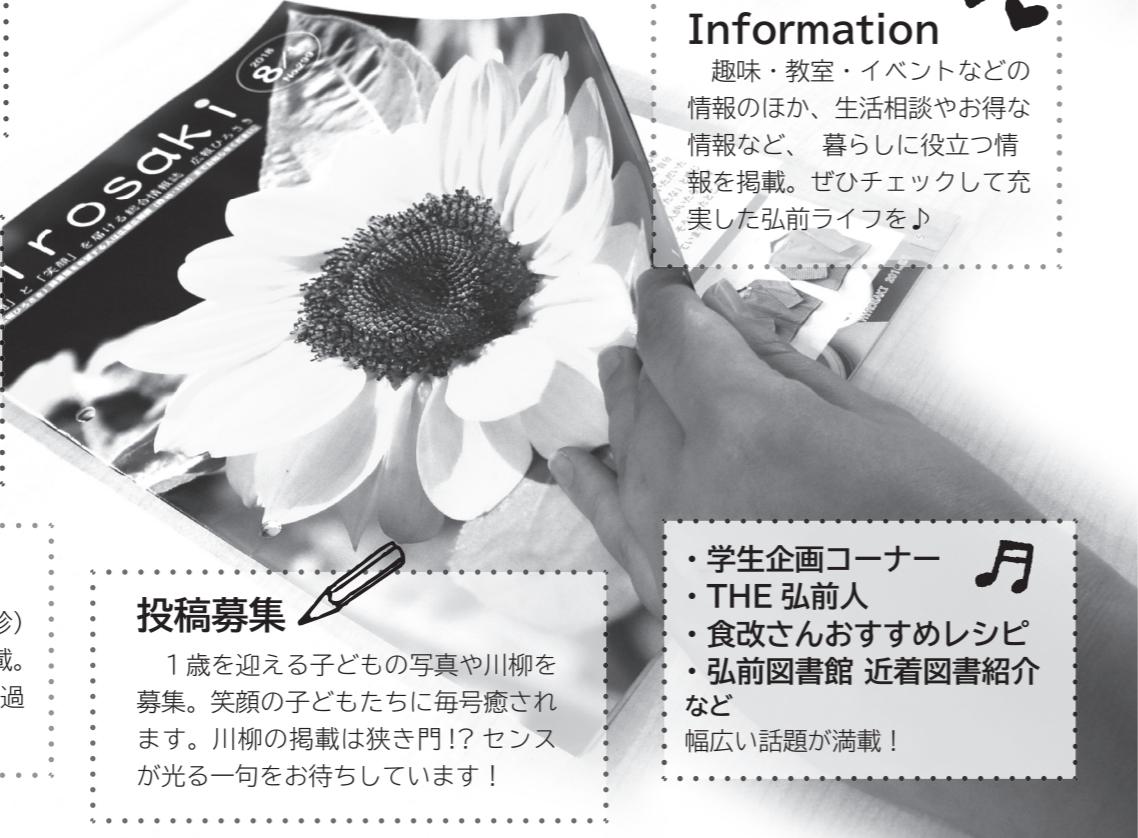
1歳を迎える子どもの写真や川柳を募集。笑顔の子どもたちに毎号癒されます。川柳の掲載は狭き門！？センスが光る一句をお待ちしています！

基本データ

- ・発行部数 約62,000部
- ・月2回発行（毎月1日・15日）
- ・各町会を通して配布しています。

暮らしの Information

趣味・教室・イベントなどの情報のほか、生活相談やお得な情報など、暮らしに役立つ情報を掲載。ぜひチェックして充実した弘前ライフを♪



学生企画コーナー

- ・THE 弘前人
- ・食改さんおすすめレシピ
- ・弘前図書館 近着図書紹介など
- ・幅広い話題が満載！

パソコン・スマホ・タブレットでも

インターネットが使える環境なら、いつでもどこでも広報誌を読みます。発行日より数日早く配信されるので、ひと足早くチェックできる点も魅力。広報誌を入手しにくい、遠方に住んでいる人にもおすすめです。

詳しくは市ホームページをご確認ください。

録音版もお届けしています

視覚に障がいがある人に、音訳グループ「しらゆり会」を通して、音声で聞ける録音版をお届けしています。

■問い合わせ先 広聴広報課（☎ 35・1194）



スマートフォンアプリ 「マチイロ」 無料

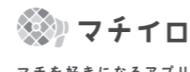
iOS・Android 対応

最新号が発行されると、アプリに通知が届いて便利♪ページめくりや拡大縮小も簡単です。

App StoreかGoogle Playで「マチイロ」を検索するか、右のQRコードからダウンロードできます。



※通信費は利用者の負担となります。



読者の声

～「広報ひろさき」に寄せて～

せき みつひろ
関 光博さん

1日号を手に取るたび、表紙の鮮やかさにいつも感動させられています。15日号も市民に必要な情報が満載ですね。

川柳コーナーも私の楽しみの一つ。インターネットでも早めに確認できるのがいいですね。

300号までの歩みは見事。今後のさらなる発展に期待します。



いわぶち ちえ
岩渕 知恵さん



いつも楽しみに読んでいます。

県外から嫁いで7年になる私は、弘前の魅力を広報ひろさきからたくさん教えてもらいました。今となっては情報通で、長年弘前に住んでいる友達以上に弘前のこと詳しく述べました。これからも弘前の魅力をどんどん伝えてください。

広報誌はなぜ必要？

情報技術が発展した今、インターネットで情報をチェックする人は珍しくありません。しかしその一方で、手軽に見ることができ、保管もしやすい「紙」で読む情報を必要とする人もたくさんいます。広報誌は多様なニーズに応えるために必要な情報誌なのです。

いい広報誌とは？

広報誌はまず「見てもらうこと」から始まります。そのため「目を引くテーマや写真を選ぶ」「需要の高い情報を選ぶ」「読みごたえのある記事を載せる」「わかりやすい表現を使う」「レイアウトを工夫する」など、色々な仕掛けをしています。

広報に正解はありませんが、限られた誌面と制作時間でどれほど工夫を凝らせるかが、広報誌の完成度を決めるのではないかと思います。

こうやって作っています！

③ 入稿

編集し終えた入稿用のデータを印刷所に受け渡します。



② 編集

パソコンで記事（写真や文字）を割り振り、文章を分かりやすい表現にするなどの編集を行います。



④ 校正

印刷所で印刷された校正紙を確認します。誤字脱字や分かりにくい表現を修正します。



⑤ 印刷製本

印刷所で印刷製本機にかけられます。ロール状の紙に印刷された後、断裁・折り・製本の加工が施されます。



⑥ 配送

製本された広報誌は、配達業者を通して各町会や市役所などの施設に配達されます。



私たちが作っています

今年の広報は女性パワー強し…！?



これからも「広報ひろさき」をよろしくお願いします！

あなたの
健康のために

健康診査、人間・脳ドックを受けましょう

検査名	対象	料金	実施期間
国保特定健康診査・後期高齢者の健康診査	国民健康保険に加入している40歳以上の人または後期高齢者医療制度に加入している人	無料（健康診査には約1万円の費用がかかりますが、受診券を使用することで年度内1回に限り、無料で受診できます）	平成31年3月15日まで
国保人間ドック	次のいずれにも該当する人 ○国民健康保険に加入している40歳以上の人 ○国民健康保険料の滞納が無い世帯の人	4,000円（年度内1回。国保特定健康診査が含まれ、同時受診となります。また、検査内容や年齢により自己負担額が増減することがあります）	平成31年3月31日まで
国保脳ドック	後期高齢者医療制度に加入している人	5,000円（年度内1回。国保特定健康診査または国保人間ドックとは別に受診できます）	平成31年3月31日まで
後期高齢者の歯科健診	後期高齢者医療制度に加入している人	無料（年度内1回。受診券はありませんので、被保険者証を持参してください）	平成31年3月31日まで

※詳細は「平成30年度健康と福祉ごよみ」17～25ページでご確認ください。なお、国保特定健康診査・後期高齢者の健康診査は国の実施基準見直しに伴い検査項目を変更し、国保人間ドックは日本人間ドック学会の基本検査項目を基に検討し検査項目を変更しています。

※8月から、国保脳ドックの指定医療機関として、弘前脳神経外科クリニック（大清水4丁目、☎88・5212）を追加しました（申し込みは直接医療機関へ）。

■問い合わせ先 国保特定健康診査、国保人間・脳ドック…国保年金課国保運営係（☎35・1116）／後期高齢者の健康診査、歯科健診…国保年金課後期高齢者医療係（☎40・7046）

市民の皆さんから
募集します

弘前市上下水道事業モニター募集

上下水道事業の取り組みや施策などについて、市民の皆さんからの意見や要望を事業運営やサービスに反映させるため、上下水道事業のモニターを募集します。

▽応募資格 市内に居住する満18歳以上の人（国および地方公共団体の職員を除く）

※平日の施設見学に参加できる人を優先しますが、モニターアンケートの提出のみでも応募可。

▽募集人員 10人程度

▽募集期限 8月31日（金）

▽モニター内容 モニターアンケートの提出（Eメールでの提出も可）、上下水道施設見学（2回実施予定）

▽モニター期間 平成31年3月まで

▽特典 ペットボトル水1箱（500ml×24本）、オリジナルエコトートバッグ、フェースタオルなど

※特典のペットボトル水の感想をモニターアンケート

に記入してもらいます。

▽応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、持参、郵送、ファクスまたはEメールで応募してください。

※応募用紙は、市ホームページに掲載しているほか、上下水道部総務課総務契約係（岩木庁舎2階）および上下水道部お客様センター（市役所1階）で配布しています。

▽選考方法 年齢・性別・地域などを考慮の上選考し、結果は応募者全員に通知します。

■問い合わせ・応募先 上下水道部総務課総務契約係（〒036・1393、賀田1丁目1の1、☎55・9660、ファクス55・9680、Eメール suisoumu@city.hirosaki.lg.jp）

あなたの力を
市民・市のために

市職員募集（初級、上級追加、社会人追加募集）

▽第1次試験 9月23日（日・祝）、県立弘前工業高等学校（馬屋町）

▽申込期限 9月4日（必着）

※受験資格や申込方法などの試験実施案内は市ホームページ（<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/saiyo/>）に掲載しているほか、人材育成課でも配布しています。

■問い合わせ・提出先 人材育成課人事評価担当（市役所2階、〒036・8551、上白銀町1の1、☎35・1119）

試験職種	採用予定人数
初級	一般行政 4人程度
	建設（土木） 1人程度
	建設（建築） 1人程度
上級追加募集	一般行政 12人程度
	建設（土木） 1人程度
	建設（建築） 2人程度
	建設（電気） 1人程度
	建設（機械） 1人程度
	建設（土木） 1人程度
社会人追加募集	建設（電気） 1人程度

対象世帯の人は
申請を

ねたきり高齢者等への紙おむつ支給事業

ねたきりの高齢者や障がい者を自宅で介護している世帯に、紙おむつを支給します。

▽対象世帯 自宅で①～③のいずれかに該当するねたきりの人を介護している、市民税非課税の世帯（生活保護世帯は除く）

①満65歳以上で要介護度4・5相当のねたきりの人

②身体障害者手帳1級・2級の交付を受けているねたきりの人

③療育（愛護）手帳Aの交付を受けているねたきりの人

▽支給内容 フラットタイプ（200枚）、テープタ

イプ（100枚）、尿とりパッド（240枚）から1種類を選択してもらい、4月・7月・10月・1月の3ヵ月おきに自宅へ配達します。

▽申請方法 申請者（家族）の印鑑を持参し、介護福祉課（市役所1階）で手続きを。

■問い合わせ先 介護福祉課 高齢福祉係（☎40・7114）

広告を
掲載しませんか

市ホームページのバナー広告と広報ひろさきに掲載する有料広告を募集しています

市ホームページ バナー広告

市のホームページに掲載するバナー広告を募集しています。

▽市ホームページ（トップページ）の閲覧状況 平成29年度=80万7,060回

※閲覧状況は、平成30年度の閲覧数を保証するものではありません。

▽掲載位置 ホームページのトップページおよびトップページ以外のページ共に最下段

▽掲載料 トップページ=1月当たり1枠1万円（1年間継続の申し込みで1枠10万円）／トップページ以外=1月当たり1枠3,000円（1年間継続の申し込みで1枠3万円）

▽掲載期間 広告の掲載期間は1カ月単位です。また、連続して掲載できる期間は最大12カ月です。

▽バナーの規格 大きさ：縦50ピクセル、横170ピクセル／形式：GIF、JPEG、PNG／容量：10キロバイト以下

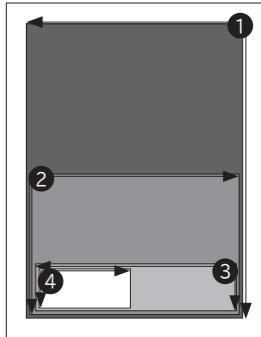
▽申込期限 掲載開始月の前月の10日までに申し込んでください。

※掲載を希望する人は必ず市ホームページをご確認ください。

広報ひろさき 有料広告

広報ひろさきに掲載する有料広告を募集しています。なお、掲載できる広告は、広報誌の性格上、その品位を妨げず、かつ市民に不利益を与えない中立性のあるものなど、いくつかの条件があります。詳しくは市ホームページでご確認ください。

●広報ひろさき 掲載枠イメージ



▽掲載位置 1日号（カラー）=最終ページ全面とお知らせページの最下段／15日号（白黒）=最終ページおよびお知らせページの最下段

▽掲載枠・掲載料 下表のとおり

▽申込期限 掲載を希望する人は必ず市ホームページをご確認ください。

■問い合わせ・申込先 広聴広報課広聴広報担当（市役所2階、☎35・1194）

●広報ひろさき掲載枠・掲載料

区分	掲載枠	規格（縦×横）	1回の掲載料（円）			
			お知らせページ	最終ページ	1日号	30万円
第1号	全枠	252mm × 170mm以内	—	—	1日号	30万円
第2号	2分の1枠	126mm × 170mm以内	—	—	1日号	15万円
第3号	5分の1枠	45mm × 170mm以内	1日号 15日号	6万円 4万円	1日号 15日号	— 6万円
第4号	10分の1枠	45mm × 85mm以内	1日号 15日号	3万円 2万円	1日号 15日号	— 3万円

※1日号は全ページカラー、15日号は全ページ白黒。

（消費税および地方消費税を含む）

受け付けは
9月 28 日まで

地域密着型サービス事業者を募集

高齢者が要介護状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、身近な地域で提供される地域密着型サービス事業者を公募します。

▽**公募サービスと整備数** 看護小規模多機能型居宅介護＝7事業所（日常生活圏域ごとに1カ所整備）／定期巡回・随時対応型訪問介護看護＝1事業所（市内に1カ所整備）

▽**応募要件など**

①法人格をもつ団体で、市内に本社または支店、営業所等を有していること。

※看護小規模多機能型居宅介護の応募は1法人につき2箇域まで。

②平成31年度中に整備が完了し、平成32年度からサービスの提供が見込まれること。

▽**公募期限** 8月15日～9月28日の午前8時30分～午後5時（土・日曜日、祝日を除く）

▽**申し込み方法** 申請書に必要事項を記入の上、介護福祉課へ持参を（郵送は不可）。

※申請書は介護福祉課で配布するほか、市ホームページからダウンロードできます。その他、詳細については公募要項をご確認ください。

スポーツの推進に
あなたの声を

弘前市スポーツ推進審議会の委員を募集

市民の皆さんからの意見をスポーツ推進に反映させるため、弘前市スポーツ推進審議会の委員を募集しますので、奮ってご応募ください。

▽**応募資格** 市内に在住する20歳以上の人で、年2回程度、平日の日中に開催される会議に出席できる人（市の他の審議会などの委員および、国・地方公共団体の議員または職員（退職者含む）を除く）

▽**募集人員** 2人程度

▽**応募期限** 8月31日（必着）

▽**任期** 委嘱の日から2年間

▽**報酬など** 会議1回の出席につき、報酬1万円と交通費（バス代など）を支給



▽**選考・発表など** 書類選考による一次審査、プレゼンテーションおよびヒアリングによる二次審査で事業者を選考し、結果は応募者全員に書面で通知するほか、選定された事業者は市ホームページで公表します。

▽**その他** 先着順ではありませんので、申請書類に不備が無いよう、受付期間内に申請してください。

※詳しくは問い合わせを。

■**問い合わせ・提出先** 介護福祉課介護事業係（〒036・8551、上白銀町1の1、☎ 40・7099、Eメール kaigo@city.hirosaki.lg.jp）



再募集しますので、希望者は申請を

老朽化した空き家の除却を支援します

※他にも条件がありますので、事前に問い合わせを。

▽**補助金額** 除却に要する費用の40%（限度額50万円）

▽**募集戸数** 2戸（2戸を超えた場合は不良度の評点が高い順）

▽**申請期間** 8月15日～10月15日

▽**事前調査** 補助の条件のうち、住宅の不良度については、あらかじめ現地調査を申し込むことができます。その場合、市から不良度の点数が通知されますので、その後に交付申請の手続きをすることができます。

▽**注意事項**

①空き家を解体することで住宅用地特例の対象外となり、土地の固定資産税等が増額になります。ただし、建物の固定資産税等が課税されなくなることから、土地と建物をトータルで考えた場合、今までよりも減額になる場合があります。

②不良度の判定を行うため、市職員が敷地に立入り現地調査を実施します。

■**問い合わせ先** 建築指導課（☎ 40・0522）

【老朽空き家等除却促進事業費補助金】

老朽化し周囲へ影響を及ぼす恐れのある空き家を除却（解体および撤去）する所有者等に対して、除却費の一部を補助します。

▽**対象住宅** ①～④の要件すべてに該当する市内にある住宅として使用されていた空き家

①木造または鉄骨造

②一戸建ての住宅または床面積の過半が住宅として使用されていた併用住宅（長屋・共同住宅を除く）

③不良度の評点が100点以上（柱の傾斜や屋根、外壁が剥げているなど老朽化や損傷の程度が大きいもの）

※詳細は問い合わせを。

④放置すれば周囲に影響を及ぼす恐れのあるもの

▽**対象者** 次の①および②の要件のいずれにも該当する者（法人を除く）

①対象住宅の所有者または相続人等

②市税等の滞納がない者

▽**対象工事** 市内に本店を有する法人または市内に住所を有する個人事業者が行う工事

市民総ぐるみで

「あいさつ運動、ことばをかけて見守る運動」

にご協力を！



強化期間
8月27日～31日

市内一斉取組日
8月28日（火）

市民総ぐるみ取り組む、いじめや虐待のないあずましいまちづくり運動として、「あいさつ運動、ことばをかけて見守る運動」を夏休み明けに実施します。

登校時間帯に合わせて、自宅前などでの子どもたちへの明るい言葉掛けに、ご協力ください。

子どもたちが安心して過ごせる弘前であるために、ぜひ市民みんなで見守っていきましょう。

■**問い合わせ先** 学校指導課（☎ 82・1644）

「あいさつ運動、ことばをかけて見守る運動」の効果

☆地域に「自分を知ってくれる人」「自分が知っている人」がいることで、子どもたちに「地域に見守られているという安心感」が生まれます。

☆子どもたちの行動に気を配ることにより、いじめや虐待の早期発見・早期対応が可能となります。地域に住む人だけではなく、地域に勤めている人も、いじめや虐待をなくすために、温かなまなざしを向け、思いやりを持って言葉を掛けましょう。



暮らしの Information



イベント

まちなかクラフト村弘前 工芸舎メインテープル企画

▽とき 8月21日～9月3日の午前10時～午後4時
▽ところ 藤田記念庭園考古館（上白銀町）2階ギャラリースペース
▽内容 間山ふみこさんによるガラス作品（器、オブジェ、アクセサリーなど）の展示・販売ほか
▽入場料 無料
■商工政策課（☎ 35・1135）



鳴海要記念陶房館の催し

◎青い森の瑠璃 2018 ガラス作品展
▽とき 8月23日～27日の午前9時～午後4時（最終日は午後3時まで）
▽内容 ガラスの器とアクセサリーの展示・販売

回マントピア天文台 [星と森のロマントピア]

★観察会 天の川を見よう
▽とき 9月1日～9日 午後7時～9時
▽ところ 星と森のロマントピア（水木在家字桜井）
▽入館料 高校生以上=200円／4歳～中学生=100円／3歳以下、市民は無料。
▽通常開館時間 午後1時～10時（最終入館は午後9時30分）
■星と森のロマントピア天文台（☎ 84・2233、月曜日は休み）

▽観覧料 無料
◎電動ロクロを体験しませんか？
▽とき 8月17日～19日の午前10時～午後3時
▽内容 電動ロクロを使った器作り
▽講師 小山陽久さん、佐藤学さん（津軽千代造窯）
▽対象 小学生以上
※所要時間約45分。予約優先。
▽参加料 1,600円（材料費を含む）
◎第2回小山陽久やきもの展～海鼠釉の魅力～
▽とき 9月2日～9日の午前9時～午後4時（最終日は午後3時まで）
▽内容 陶の器の展示・販売
▽観覧料 無料
～共通事項～
▽ところ 鳴海要記念陶房館（賀田字大浦）
■鳴海要記念陶房館（☎ 82・2902、火曜日は休み）

藤田記念庭園の催し

◎ちよきちよき切り絵ワークショップ
▽とき 8月25日（土）午後5時30分～8時
▽ところ 洋館1階ホール
▽講師 青柳省吾さん（切り絵制作者）
▽体験料 500円～（選んだ切り絵で金額が変わります）
▽講師 石田美津子さん

▽事前に電話で申し込みを。
■藤田記念庭園（☎ 37・5525）

みんなで知ろう！ がんフェスティバル

正しいがんの情報を紹介します。
▽とき 8月26日（日）、午後0時30分～4時30分（開場は正午）
▽ところ 土手町コミュニティパーク多目的ホールA・B、ポム広場
▽入場料 無料
※事前の申し込みは不要。
■弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター（☎ 39・5174）

第1回プラザ棟 eco フリーマーケット

▽とき 9月1日・2日の午前10時～午後3時
▽ところ 弘前地区環境整備センター（町田字筒井）
▽内容 フリーマーケット、アップサイクルショップ（廃材を加工した商品の販売など）、クリッキーやパンの販売、ワークショップなど
◎空きびんをリユースした「ハーバリウム作り教室」
フリーマーケット会場内でワークショップを行います。
▽とき 午前の部=10時～11時30分、午後の部=1時30分～3時
▽講師 石田美津子さん

▽対象 小学生以上=各回20人（先着順）
※小学生は保護者同伴。

▽参加料 無料
■弘前地区環境整備センター（☎ 36・3388（午前9時～午後4時）、月曜日は休み）

ヒロロスクエアのイベント

◎ヒロロどうぶつランド
▽とき 9月1日（土）、午前10時～正午、午後1時～3時
▽ところ 弘前駅前遊歩道、3階イベントスペースほか
▽内容 ウサギ・モルモット・ヤギ・盲導犬との触れ合い、弥生いこいの広場PRコーナー、どうぶつクイズコーナー／ポニーの乗馬（午前11時～正午、午後1時～2時）



◎ヒロロどうぶつランド特別企画・親子で学ぼう！「楽しく働く犬。もうどう犬について」

▽とき 9月1日（土）、午後0時10分～0時40分
▽ところ 3階イベントスペース
▽内容 盲導犬のお話、盲導犬PR犬ソルティとの触れ合い、歩行体験（先着3人）

▽参加料 無料
※事前の申し込みは不要。

◎ダンス交流文化祭 2018
全国の学生や25歳以下のダンサーを対象にしたダンス発表の場です。

▽とき 9月8日（土）午後0時30分～7時
▽ところ 4階市民文化交流館ホール
▽チケット 2,000円

▽チケット取扱所 ヒロロ（1階インフォメーション・3階市民文化交流館窓口）、ひろさき芸術舞踊実行委員会（山道町）
■ヒロロスクエア賑わい創出委員会事務局（ヒロロ3階、市民文化交流館内、☎ 35・0154（午前8時30分～午後9時））

弘前藩忍者「早道之者」の足跡を探せ！

津軽まちあるき博覧会の新コースです。忍者ゆかりの地を歩き、普段は非公開の忍者屋敷を探索します。

▽とき 9月2日（日）、午後1時～4時30分
▽コース 津軽藩ねぶた村～仲町武家屋敷群～弘前公園～忍者屋敷～禅林街

▽講師 清川繁人さん（青森大学忍者部顧問）
▽定員 20人（先着順。8人に満たない場合は中止）

▽参加料 1人2,000円
▽申し込み方法 8月17日から、ホームページ（http://machi-aruki.sakura.ne.jp）か電話で申し込みを。※詳しくはホームページで確認するか問い合わせを。

■津軽まちあるき観光推進実行委員会（弘前観光コンベンション協会内、☎ 35・3131）

9月8日
9日

弥生いこいの広場 「Autumn（オータム）フェス 2018」

イベント	とき	ところ	内容など（予定）
テント・タープ展示	午前9時30分～午後4時	オートキャンプ場	観覧無料
野外料理教室	午前10時～午後2時	オートキャンプ場	対象…4・5人位のグループ、親子=10組程度（先着順）/参加料…1組=5,000円 ※事前の申し込みが必要。
動物のエサプレゼン	午後2時～	動物広場入口	動物のえさを子ども限定で先着50人に無料プレゼントします
Let's紙ヒコーキ	午後1時	オートキャンプ場	参加無料
スラックライン体験	午前9時30分～午後4時	オートキャンプ場	体験無料 ※綱渡りのようなスポーツ。
露店コーナー	午前9時30分～午後4時	第1駐車場	軽食、飲み物、ゲームなど
夜の動物園	午後5時～8時 ※8日のみ	動物広場内	アライグマのエサやり、ポニー・きゅうきゅう見学、ハリネズミやアオダイショウとのふれあい

※動物広場内のイベントは入場料が必要。



■弥生いこいの広場（百沢字東岩木山、☎ 96・2117）

二十歳の祭典

▽とき 平成31年1月13日（日）午前11時～

▽ところ 市民会館（下白銀町）

▽内容 式典、実行委員会による成人祭
▽対象 平成10年4月2日～平成11年4月1日に生まれた人（市内に住所のある対象者には、12月上旬に案内はがきを郵送します）

※市ホームページに昨年の様子を掲載していますのでご覧ください。
■生涯学習課（☎ 82・1641）



こどもの森9月の催し	りんごの一年物語（最終章）
◎バッタ展 ▽とき 9月2日～17日の午前8時30分～午後4時30分 ▽ところ こどもの森ビジターセンター（坂元字山元、久渡寺境内） ▽内容 バッタの仲間やキリギリス、コオロギなどの実物の飼育展示 ▽入場料 無料 問こどもの森ビジターセンター（☎ 88・3923）／市みどりの協会（☎ 33・8733）	▽とき 9月9日（日） 午前9時～11時 ▽ところ 集合＝岩木庁舎（賀田1丁目）正面玄関前／園地＝岩木山麓（鼻和） ▽内容 りんごもぎ ▽参加料 無料 ▽持ち物 雨具、軍手 問9月8日までに、フルーツ合衆国（岩木山観光協会内、福澤さん、☎兼F 82・2645、☎携帯090・8925・3266）へ。
弘前城植物園の催し	おしごと体験広場キッズ ハローワークリんご篇
◎弘前城植物園散策ガイド 市みどりの協会の樹木医や緑の相談員が見頃の花や樹木を説明しながら、楽しく園内をガイドします。 ▽とき 9月7日（金） 午前10時～11時 ▽集合 弘前城植物園南案内所 ▽参加料 無料（ただし、入園料が必要） ※事前の申し込みは不要。 ◎秋の寄せ植え体験 ▽とき 9月8日（土） 午前10時～11時30分 ▽ところ 植物園内無料休憩所 ▽内容 季節の花の寄せ植え ▽対象 20組（先着順） ▽参加料 1組＝1,500円（1鉢分） ▽持ち物 エプロン ※8月31日までに、電話で申し込みを。 問市みどりの協会（☎ 33・8733）	りんごに関するおしごと体験や見学を行うバス遠足です。 ▽とき 9月15日（土） 午前8時～午後3時 ▽集合 弘前シードル工房 kimori（清水富田字寺沢、りんご公園内） ▽対象 小学生 ▽参加料 1,000円（体験材料費として） ▽申し込み方法 8月31日までに、電話（氏名（複数人での参加も可）・学校名（学年）・住所・保護者氏名・保護者連絡先）で申し込みを。 問弘前シードル工房 kimori（☎ 88・8936）
こども絵本の森 開館5周年記念イベント	本とあそぼう 全国訪問おはなし隊
◎絵本の森で遊ぼう ▽とき 9月8日（土）、午後1時30分～4時30分 ▽ところ ヒロ口（駅前町）3階イペントスペース ▽内容 絵本作家によるおはなし会と歌って踊る絵本ライブ、みんなで楽しむミニコンサート ▽定員 100人 ▽参加料 無料 ※事前の申し込みは不要。 問弘前図書館（☎ 32・3794）／こども絵本の森（☎ 35・0155）	▽とき 9月15日（土）、午後3時～4時5分（雨天決行） ▽ところ 弘前図書館正面玄関前（東北電力側、下白銀町）、2階会議室 ▽内容 絵本、児童書を約550冊載せたキャラバンカー内の自由閲覧と、おはなし隊によるおはなし会（参加者へのお土産もあります） ▽対象 幼児～小学校低学年 ▽参加料 無料 ※事前の申し込みは不要。 問弘前図書館（☎ 32・3794）
白神山地ブナ林再生&観察会	白神山地ブナ林再生&観察会
	いつでもどこでも簡単に親子と一緒に楽しめる体操です。心身のリフレッシュができ、親子のスキンシップ

2日） ▽ところ 集合・解散＝弘前駅城東口／活動＝白神山地内奥赤石（櫛石山登山口） ▽活動内容 枯損木等の除伐、除去、下草刈り、植樹、自然観察会など ▽対象 市民＝30人（先着順） ※未成年者は保護者の同意が必要。 ▽参加料 500円（傷害保険料を含む） ▽持ち物 寝袋、食料など ※詳しくは問い合わせを。 ▽申し込み方法 9月12日までに、ファクスかEメール（住所・氏名・年齢・電話番号を記入）で申し込みを。 問日本山岳会青森支部（須々田さん、☎兼F 44・7237、E h.susuta@gmail.com）	△の機会にもなりますので、ぜひご参加ください。 ▽とき 9月2日（日） 午前11時～正午 ▽ところ ヒロ口（駅前町）3階健康ホール ▽対象 おむね3歳以上の幼児とその保護者＝20組（先着順） ▽参加料 無料 ▽申し込み方法 駅前こどもの広場（☎ 35・0156）へ申し込みを。 問健康づくり推進課（☎ 37・3750）	△とき 9月15日（土）、午後1時30分～3時30分 △ところ 市民参画センター（元寺町）3階グループ活動室 △テーマ 「プランデュー弘前FC版地域貢献」～サッカーチームを通じて地域に貢献～ △講師 吉田大介さん（弘前Jスポーツプロジェクト「プランデュー弘前FC事務局」） △参加料 無料 ※事前の申し込みは不要。 問ボランティア支援センター（元寺町、市民参画センター内、☎ 38・5595）
△藍染り染め体験教室	環境にやさしい藍の擦り染めでござん刺し模様の作品を作成してみませんか。 △とき 9月8日（土） 午前9時30分～正午 △ところ 弘前地区環境整備センター（元寺町）3階 △講師 齊藤サツ子さん（青森県環境パートナーシップ会員）	△とき 9月8日（土） 午前9時30分～正午 △ところ 弘前地区環境整備センター（元寺町）3階 △講師 齊藤サツ子さん（青森県環境パートナーシップ会員）
△市民講座「心と体の緩和ケア」	身体的、精神的に良好な生活が営めるよう、市民向けの講座を開催します。 △とき 9月7日（金） 午後6時～8時 △ところ 弘前大学医学部コミュニケーションセンター（本町）	△とき 9月7日（金） 午後6時～8時 △ところ 弘前大学医学部コミュニケーションセンター（本町）
	△講演 「がん疼痛への対処」…講師・木村太さん（弘前大学附属病院麻酔科講師）／「がん診療における精神・心理的問題」…講師・古郡規雄さん（弘前大学医学研究科神経精神医学講座准教授）／「緩和ケアって何だ？」…講師・佐藤温さん（弘前大学医学研究科腫瘍内科学講座教授） △対象 市民＝80人（先着順） △参加料 無料 △申し込み方法 8月31日まで	△講演 「がん疼痛への対処」…講師・木村太さん（弘前大学附属病院麻酔科講師）／「がん診療における精神・心理的問題」…講師・古郡規雄さん（弘前大学医学研究科神経精神医学講座准教授）／「緩和ケアって何だ？」…講師・佐藤温さん（弘前大学医学研究科腫瘍内科学講座教授） △対象 市民＝80人（先着順） △参加料 無料 △申し込み方法 8月31日まで
△ほっと・ばらんていあ	△申し込み受け付け 8月26日～ △ところ 弘前地区環境整備センター（元寺町）3階 △受講料 無料（資料代2,500円が必要） △申し込み方法 9月1日～8日（日曜日を除く）に、直接窓口へ申し込みを。 ※詳しくはホームページ（http://www.hirogaku-u.ac.jp）で確認するか、問い合わせを。	△ほっと・ばらんていあ △気軽に誰でも参加し、情報収集ができるボランティア講座です。

大石武学流庭園めぐりバスツアー

津軽地方独自の庭園様式である「大石武学流庭園」は、その高い文化財的価値が全国的に注目されています。今回、大石武学流庭園の魅力を体感できるバスツアーを開催しますので、奮ってご参加ください。

- △とき 9月24日（月・振休）、午前9時～午後5時
- △集合・解散 市立観光館（下白銀町）バスプール
- △コース（予定） 須藤家庭園～丹藤氏庭園～成田家庭園～盛美園～鳴海氏庭園
- △定員 50人（申し込み多数の場合は抽選で決定）
- △参加料 無料（昼食代は自己負担）
- △申し込み方法 9月7日（金）までに、郵便かファクス（郵便番号・住所・氏名・電話番号・「庭園バスツアー参加」と記入）で、弘前文化財保存技術協会（今井二三夫さん、〒036・8333、若党町75の2、☎兼F 32・9272）へ申し込みを。
- 問文化財課（☎ 82・1642）



高齢者健康トレーニング教室

6種類のトレーニングマシンを使った軽い負荷による運動プログラムです。専門のスタッフがサポートしますので、健康増進、介護予防ご利用ください。

△とき 毎週月曜日～土曜日の①午前8時50分～、②午前9時50分～、③午前10時50分～、④午後1時40分～、⑤午後2時40分～、⑥午後3時40分～（いずれも40分程度）

△ところ ヒロ口（駅前町）3階高齢者健康トレーニング教室

△利用期間 10月～平成31年3月（週1回。利用開始から最長6ヵ月間）

△対象 65歳以上の市民=100人

△申し込み方法 9月7日（必着）までに、往復はがき（住所・氏名・年齢・電話番号・利用希望曜日と利用希望時間〈第1希望から第3希望まで〉を記入）で申し込みを。

※応募多数の場合は抽選で決定（新規利用者を優先）。9月中旬以降、結果を郵送します。教室は、ヒロ口のほか、ロマントピア（水木在家字桜井、☎ 84・2236）や温水プール石川（小金崎字村元、☎ 49・7081）でも実施しています。詳しくは各教室に問い合わせを。

問 高齢者健康トレーニング教室（〒036・8003、駅前町9の20、☎ 35・0161）



その他

高齢者はり・きゅう・マッサージ受療券の交付

65歳以上の希望者に、はり・きゅう・マッサージの受療券を交付し、施術料を助成します。なお、助成対象は医療保険適用外の施術に限ります。

△対象者 満65歳以上で今年度未申請の人

△申請期限 平成31年3月29日（年度内1人1回のみ受け付け）

△受付時間 午前8時30分～午後5時（即日交付）

△交付枚数 8月に申請=5枚／9月～12月に申請=4枚／平成31年1月～2月に申請=3枚／3月に申請=2枚
※申請時期により交付枚数が異なります。

△助成金額 1枚につき500円

△申請・交付場所 介護福祉課／岩木総合支所民生課（賀田1丁目）／相馬総合支所民生課（五所字野沢）

△申請・交付に必要なもの 住所・年齢が分かるもの（保険証や免許証など）、印鑑

※受療券は、市指定の施術所で使用できます。

問 介護福祉課（市役所1階、☎ 40・7072）

納税通知書等送付用窓付封筒に広告を掲載しませんか

市・県民税、軽自動車税および固定資産税・都市計画税の納税通知書等送付用の窓付封筒に掲載する有料広告を募集しています。掲載できる広告は、納税通知書等を郵送する性格上、いくつかの条件があります。詳しくは市ホームページで確認を。

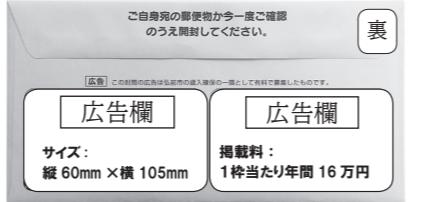
△印刷予定枚数 約22万3,000枚

△掲載規格など 約縦60mm×横105mm、2枚

△掲載料 1枚当たり年間16万円

△申込期限 9月28日（金）

問 資産税課（市役所2階、☎ 40・7027）



△現在使用中の封筒（イメージ図）

ひろさき広域出愛サポートセンター休日登録会

結婚を希望する独身男女がお見合いをする支援をしています。お見合いをお手伝いする出愛サポートーも随时募集しています。

△8月休日登録会

△とき 8月26日（日）

正午～午後4時

△ところ ヒロ口（駅前町）3階多世代交流室2

△9月休日登録会

△とき 9月9日（日）

正午～午後4時

△ところ 板柳町多目的ホールあぶる（板柳町灰沼字岩井）

問 ひろさき広域出愛サポートセンター事務局（☎ 35・1123（日・月曜日を除く、午前10時～午後7時））

買い物サービス勉強会 in ひろさき

買物弱者支援サービスなどによる新たなビジネスモデルの創出に向けた勉強会です。

△とき 8月28日（火）、午後3時～5時

時～5時

△ところ ヒロ口（駅前町）3階健康ホール

△内容 県内のモデル事例や先行事例の紹介など

△対象 市内の商店街関係者、小売・サービス業者など

△参加料 無料

△申し込み方法 電話かファックスまたはEメール（氏名・所属・電話番号を記入）で申し込みを。

問 商工政策課（☎ 35・1135、FAX 35・1105、E-mail shoukou@city.hirosaki.lg.jp）

防災行政無線の試験放送

地震や武力攻撃などの発生時に備え、次のとおり情報伝達試験を全国一斉で行います。当市では防災行政無線から試験放送が流れます（サイレンは鳴りません）。今年度は計4回の試験が予定されており、今回は第2回目です。

△放送日時 8月29日（水）

午前11時ごろ

※気象状況等によっては中止することがあります。

問 防災安全課（☎ 40・7100）

あおもり UIJ ターン 創業相談会 in 東京

首都圏に弘前での創業・起業を検討している知り合いがいる人は、周知のご協力をお願いします。

△とき 9月22日（土）、①午前10時10分～、②午後1時10分～、③午後3時10分～（いずれも90分程度）

△ところ 東京交通会館（東京都千代田区有楽町）8階青森暮らしサポートセンター

△内容 手袋、セーターなどの製作

△申し込み方法 9月18日までに、所定の申込書に必要事項を記入し、ファックスかEメールで申し込みを。

※詳しくは県ホームページ（https://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/shoko/support_for_entrepreneurs.html）で確認を。
問 青森県商工労働部地域産業課創業支援グループ（☎ 青森017・734・9374、FAX 017・734・8107、E-mail chiikisangyo@pref.aomori.lg.jp）

弘前市への移住相談を行います

弘前市の移住相談ブースを出展します。首都圏に弘前への移住を検討している知り合いがいる人は、周知のご協力をお願いします。

△ふるさと回帰フェア in 東京

△とき 9月9日（日）、午前10時～午後4時30分

△ところ 東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）ホールE

△青森暮らしセミナー in 東京

△とき 9月15日（土）、午前11時30分～午後4時

△ところ 東京交通会館（東京都千代田区有楽町）8階ふるさと回帰支援センター内セミナースペースA

△ひろさき移住サポートセンター東京事務所（☎ 東京03・6256・0801）

文化グループ会員募集（手編みの会）

初心者、経験者を問わず歓迎します。

△活動日 水曜日の午前9時15分～11時45分（月3回）

△ところ 弘前文化センター2階第3会議室

△内容 手袋、セーターなどの製作

CREATOR'S TRAIN Vol.3

つくること、いきること、つなぐこと。弘前のモノづくりを見て、触れて、体験する2日間です。

△とき 8月31日の午後5時～9時、9月1日の午前10時～午後5時

△ところ スペースデネガ（上瓦ヶ町）

△内容 青森を拠点に活躍するクリエイターと日本を代表するクリエイターによるライブパフォーマンスや作品展示、ワークショップ、フード・ドリンク出店、フリーアートスペースなど

△入場料 無料（ワークショップなどは一部有料）
※詳しくはホームページ（<http://hirosaki-creators-station.com/creators-train-vol-3>）で確認を。

問 ファンキースタジアム（☎ 88・6499）



買い物サービス勉強会 in ひろさき

買物弱者支援サービスなどによる新たなビジネスモデルの創出に向けた勉強会です。

△とき 8月28日（火）、午後3時～5時

人の動き

Population

前月比

・人口	172,807人	(-103)
男	79,188人	(- 64)
女	93,619人	(- 39)
・世帯数	71,876世帯	(- 4)
	平成30年7月1日現在（推計）	



無料相談

くらしとお金の安心相談会

▽とき 9月5日（水）
午前10時～午後4時
▽ところ 市民生活センター（駅前町、ヒロ口3階）
▽内容 生活再建や債務整理に必要な資金の貸し付けに関すること
※事前に電話で申し込みを。
問青森県宅地建物取引業協会（☎青森017・722・4086）

▽ところ 総合学習センター（末広4丁目）
▽内容 空き家などの適正管理や有効活用に向けた相談、住宅に関する相談など

▽相談員 宅地建物取引士、住まいアップアドバイザー（建築士）、司法書士

※事前の申し込みを優先します。

問青森県宅地建物取引業協会（☎青森017・722・4086）



ファイナンシャルプランナーによる無料納税相談

▽とき 9月6日・13日・27日
=午前11時～正午、午後3時～4時／9月20日=午前11時～正午、午後3時～4時、午後6時～7時／9月23日=午前11時～正午、午後2時～3時
▽ところ 収納課（市役所2階）
▽対象 市税などを滞納している人
▽相談方法 ファイナンシャルプランナー（家計や経営の収支・返済計画を見直し、総合的な診断とアドバイスを行う専門家）が個別に対応（1人につき1時間まで、先着順）
▽申し込み方法 8月31までに、電話または収納課窓口で申し込みを。
問収納課（☎40・7032、40・7033）

住まいと空き家の相談会

▽とき 9月8日（土）、午前10時30分～午後2時（正午～午後0時30分を除く）
問市民生活センター（☎33・5830）

休日在宅当番

▽診療時間 内科…午前9時～正午／耳鼻咽喉科・眼科、歯科…午前10時～午後4時

内 科

9/2 関医院中津軽診療所（賀田1）	☎82・3006
9 さがらクリニック（桔梗野1）	☎37・2070
16 千葉胃腸科内科医院（石渡3）	☎36・7788
23 弘前温泉養生医院（真土）	☎82・3377
30 沢田内科医院（茂森新町1）	☎37・7755

耳鼻咽喉科・眼科

9/2 さとう耳鼻咽喉科医院（田園4）	☎27・8733
17 伊藤眼科（南大町2）	☎36・6105
30 坂本耳鼻咽喉科内科医院（南瓦ヶ町）	☎33・6373

歯 科

9/2 ふじた歯科医院（石渡4）	☎37・3118
9 渡辺歯科医院（茂森町）	☎32・5800
16 小泉歯科医院（高屋）	☎82・3232
17 秋元歯科クリニック（大門2）	☎88・1513
23 福原歯科医院（上鞘町）	☎37・3535
24 オリオン歯科クリニック（元寺町）	☎33・0418
30 工藤歯科医院（石川）	☎92・2330

①休日の救急病院などについては、消防本部の救急病院案内専用電話（☎32・3999）へお問い合わせください。

各種スポーツ・体操教室

教室名	とき	ところ	内容	定員・対象	参加料	問い合わせ・申込先
①歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー in 弘前公園	9月2日（日）、午前10時30分～午後3時	弘前公園（集合は市民会館〈下白銀町〉）	ウォークラリー（雨天時は室内で体操や講座を実施予定）	糖尿病患者とその家族など=100人（先着順）	700円（保険料、入園料等を含む）	8月24日までに、ファクス（氏名〈ふりがな〉・年齢・性別・主治医名を記入）で、ノボノルディスクファーマ青森オフィスウオークラリー事務局（☎青森017・773・0031、✉017・773・0030）へ。
②走り方教室	9月5日～28日の毎週水・金曜日（12日を除く）、午後4時30分～6時	弘前B & G 海洋センター（八幡町1丁目）	走る跳ぶなど全身を使った運動	小学生=30人	無料	8月27日までに、河西体育センター（〒036・8316、石渡1丁目19の1、☎38・3200）へ。※1
③プールで体力づくり教室	9月6日～10月11日の毎週木曜日（9月13日を除く）、午後1時～2時	温水プール石川（小金崎字村元）	水中での体操など	市民=25人	無料	
④水中エクササイズ	9月11日・25日の午後1時～1時45分		足腰に負担をかけずにできるエクササイズ	65歳以上の市民=各回20人	無料	8月15日から、温水プール石川（☎49・7081）へ。
⑤小学生水泳教室	9月7日～10月12日の毎週金曜日、午後4時30分～5時30分	河西体育センター（石渡1丁目）	水慣れ、けのび、クロール	小学生=20人	無料	⑤=8月24日、⑥=8月30日までに、岩木B & G 海洋センター（〒036・1332、兼平字猿沢32の11、☎82・5700）へ。※1
⑥一般初心者・中級者バドミントン教室	9月12日～11月14日の毎週木曜日、午後1時30分～3時	弘前B & G 海洋センター（八幡町）	ラケットの持ち方、振り方などの基本動作	市民=25人	無料	
⑦楽に動ける腰ケア	9月12日・14日・19日・28日の午前10時30分～11時45分（初回は正午まで）	文化センター（下白銀町）2階第1・第2和室	腰や膝に違和感を覚える人や衰えを予防したい人向けのストレッチなど	市民=各回10人（先着順）	1回=500円	開催日の前日までに、弘前地区女性会事務局（文化センター1階、市社会教育協議会内、☎31・3010（火・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時））へ。
⑧楽に動ける膝ケア	10月3日・17日・31日の午前10時30分～11時45分（初回は正午まで）					
⑨～認知症を予防しよう！～☆楽しく健康新教室☆	9月22日～10月27日の毎週土曜日、午後1時30分～2時30分	金属町体育センター集会室	軽いリズム体操、遊びを取り入れた脳トレーニングなど	市民=10人程度	無料	8月31日までに、金属町体育センター（〒036・8245、金属町1の9、☎87・2482）へ。※1、※2
⑩めざせ甲子園！中3野球教室	9月18日・25日、10月1日・15日・22日・29日、11月5日・12日・19日・26日、12月3日・10日の午後6時30分～8時30分	克雪トレーニングセンター（豊田2丁目）、はるか夢球場	体力測定、講話、基礎体力アップのためのトレーニング、技術指導（講師=弘前アレックスほか）	中学校3年生=30人（先着順）	全12回=1万2,000円（別途傷害保険料500円が必要）	8月16日から、克雪トレーニングセンター（☎27・3274）へ。
⑪水上スポーツ＆ウォーターサークル遊具体験 in 城北ファミリーポール	9月8日・9日の、①午前10時～正午、②午後1時30分～3時30分	城北ファミリーポール（八幡町1丁目）	8日=カヌーとウォーターサークル遊具体験 9日=SUPとウォーターサークル遊具体験	小学生以上=各回10人	1時間当たり子ども=500円 親子（2人）=1,000円 大人=700円	8月15日から、弘前B & G 海洋センター（☎33・4545）へ。

※1…往復はがきに、住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・教室名を記入の上、各申込先まで申し込みを。家族や友人同士での参加ははがき1枚で応募可。応募多数の場合は抽選で決定。

※2…室内用シートの持参を。

共通事項…飲み物・タオルなどを持参の上、運動のできる服装で参加を。持ち物は問い合わせを。各自傷害保険に加入を。

有料広告

有料広告

有料広告



津軽広域 連合だより

“津軽”の話題満載

第33回黒石こみせまつり

黒石市

津軽三味線の演奏や、AOMORI花嵐桜組によるよさこい演舞、黒石商業高等学校写真部による「きもの姿撮影会・写真サービス」など楽しい催しが盛りだくさんです。

▽とき 9月8日・9日の午前10時～午後4時

※車でお越しの際は、黒石市役所の駐車場をご利用ください。

■問い合わせ先 黒石こみせまつり実行委員会（黒石商工会議所内、☎ 52・4316）



▲祭りに華を添えるよさこい演舞

6thクラフト小径(こみち) 2018

板柳町

今年で6回目となる野外クラフトフェアです。りんごが実った秋の中央アップルモールを会場に、全国からプロのクラフト作家が集い、作品の展示販売をします。

▽とき 10月6日の午前10時～午後4時／10月7日の午前9時～午後4時

▽ところ 中央アップルモール（板柳町板柳、板柳町役場近く）

▽入場料 無料

■問い合わせ先 クラフト小径実行委員会（☎携帯090・6684・7469）



▲自慢の作品が勢ぞろい

8月

とき	イベント名	内 容	問い合わせ先
15日～20日	黒石よされ	日本三大流し踊りの一つで、約2,000人規模の流し踊りは必見。飛び入り参加もできます	同実行委員会事務局（☎ 52・4316）
16日	大川原の火流し	精霊流しが起源とされる伝統の奇祭。火のついたアシガヤの舟を引き、激流を下ります	黒石観光協会（☎ 52・3488）
17日	ふるさと元気まつり 2018	黒石ねぶた、よされなどの黒石の夏祭りが一堂に集結。フィナーレの花火は圧巻です	黒石青年会議所（☎ 52・3369）
17日	灯篭流し	平川親水公園で町民参加による供養灯篭（とうろう）流しが行われます	大鰐町企画観光課（☎ 48・2111）
18日	浅瀬石川灯籠流し（黒石市）	先祖の靈を慰めながら五穀豊穣や無病息災を願い、火がともつた灯籠を川へ放流します	じょんからふる里づくり推進協議会（☎ 52・3353）
18日	第2回青森フォトロゲイニング大会inおおわに2018	大鰐町を起点に「フォトロゲイニング」大会を開催！弘南鉄道に乗って各地を巡り、ポイントを稼ごう！	大鰐温泉もやし増産推進委員会（☎ 88・6690）
19日	虹の湖ロックフェスティバル2018	屋外ステージで開催される、熱い夏をさらに盛り上げる黒石発のロックフェスティバル	同実行委員会（☎携帯090・1065・2469）
20日	第49回津軽花火大会	幻想的な灯篭流しのあと、約4,000発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を美しく彩ります	藤崎町商工会（☎ 75・2370）
25日・26日	いなかだて村いちごフェスタ	村産いちごを使ったスイーツが道の駅いなかだて「弥生の里」に大集合！	田んぼアートの里ブランド化推進協議会（☎ 55・6016）
26日	ファッショント甲子園2018	3,000を超える応募の中から選ばれた全国の高校生が弘前に集い、ファッショントデザインNO.1を競います	同実行委員会（☎ 33・4111）

9月

8日・9日	ひらかわフェスタ 2018	地場産品の販売や児童・園児の食育活動の紹介等、地産地消と食育を推進	同実行委員会（☎ 44・8815）
16日	カルチュアロード2018（弘前市）	歩行者天国になった土手町通りで、多彩な催しや出店が盛りだくさんです	同実行委員会事務局（☎ 33・5369）
16日	第37回暗門祭（西目屋村）	暗門神社の伝統神事のほか、多彩なアトラクションが行われます	日屋觀光協会（☎ 85・2800）
22日・23日	ひろさきりんご収穫祭	りんご公園を会場に、弘前産りんごの収穫期を祝い、さまざまなPRイベントを行います	弘前市りんご公園まつり事業実行委員会事務局（☎ 40・7105）
23日～25日	猿賀神社十五夜大祭（平川市）	県下獅子踊り大会、津軽民謡新人大会等のイベントが開催されます	猿賀神社（☎ 57・2016）
29日	古代史シンポジウム -古代津軽の様相を探る-	考古学等の専門家を招き、古墳～平安時代の津軽の様相について講演します	弘前市文化財課（☎ 82・1642）
30日	廃校で運動会コン	大鰐町の廃校を会場に、運動会を開催して男女の出会いを応援します	大鰐町企画観光課（☎ 48・2111）
30日	第26回稻刈り体験ツアー	第1田んぼアート「ローマの休日」の稻刈り体験ができます	田舎館村企画観光課（☎ 58・2111）

10月

5日～8日	津軽民謡短期大学	民謡を愛する多くの人たちに、伝統ある津軽民謡手踊りを教えます	黒石観光協会（☎ 52・3488）
7日	第16回弘前・白神アップルマラソン大会	弘前市内から西目屋村までの自然豊かなコースを約6,500人の参加者が走り抜けます	同実行委員会事務局（☎ 88・8399）
8日	クロスエス～音×食×クラフトのフェスティバル	弘前の名物音楽フェスティバル。弘前の自然や文化の魅力を音楽や食を通じて伝えます。メインアーティストは「家入レオ」！	弘前青年会議所（☎ 34・4458）
8日	りんごの里板柳まるかじりウォーク 2018	7、13、23kmの3コース！りんごもぎとり体験もあります	板柳町生涯学習課（☎ 72・1800）
13日	弘前市仲町伝統的建造物保存地区選定40周年記念シンポジウム	重伝建地区に選定されたから取り組み振り返り、今後の仲町について考えます	弘前市文化財課（☎ 82・1642）

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、要介護認定審査・障害支援区分判定審査のほか、各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。

■編集発行 弘前市経営戦略部広聴広報課 ☎ 036-8551 弘前市大字上白銀町1-1 ☎ 35・1111 ファクス 35・0080

■ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/> ■公式フェイスブック <https://www.facebook.com/hirosakicity>

※「広報ひろさき」は市の主な施設や市内の金融機関、郵便局、スーパーマーケットなどにも備えてあります。